

# 広島大学学術情報リポジトリ

## Hiroshima University Institutional Repository

Title	組織の方針の理解と権威主義的マネジメントが組織成員のプロアクティブ行動に与える影響について
Author(s)	##田, 智行
Citation	広島大学マネジメント研究, 23 : 39 - 39
Issue Date	2022-03-26
DOI	
Self DOI	
URL	<a href="https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00052192">https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00052192</a>
Right	Copyright (c) 2022 by Author
Relation	



# 組織の方針の理解と権威主義的マネジメントが 組織成員のプロアクティブ行動に与える影響について

吉田 智行

## 1. 研究の目的と概要

組織成員が自発的に、先を見越した行動として「プロアクティブ行動」が注目されている。本研究においては、プロアクティブ行動を促進させるために、どのような取組が効果的であるか検討することを目的とする。

プロアクティブ行動は先を見越した行動であるため、所属組織において予測可能な状況である、すなわち不確実性が低ければ、プロアクティブ行動がとられやすいと考えられる。先行研究を概観し、組織の不確実性を低下させる要因として「組織の方針の理解」と「権威主義的マネジメント」の2つの概念を取り上げ、仮説を導出するとともに、定量的な検証を行うことによって、プロアクティブ行動に対する影響を確認した。

## 2. 先行研究

プロアクティブ行動とは、「新たな状況、課題、関係の創出に向けた、意図的で、先を見越した自発的な活動」である。新入社員の学習を促すとともに、成員に自己の役割を発展させようとする効果を持ち、また自発的な知識の獲得によって不確実性が低減され、行動従事者の離職意思を低減させる効果がある (Ashforth et al., 2007)。リアクティブ行動は、上司から与えられた職務を忠実にこなすなど、プロアクティブ行動と対となる概念であり、併せて検討する。

組織の方針は、経営理念、経営戦略やビジョンなどの、組織の持つ信条や価値観に基づく基本的方向性を示すものである。経営理念には、組織成員の動機付け機能、統合機能、バックボーン（指針）機能があるとされ (奥村, 1994; 北居・松田, 2004; 松葉, 2008)、組織成員は組織のあるべき姿やその組織の行うべき仕事を概念的に理解することができる。その結果、組織における不確実性は低減され、次にとるべき行動を予測しやすくなるといえる。

権威主義的マネジメントとは、「組織の経営者の行動や決定が、独断的で厳格で融通が利かず、規則に縛られた考え方をもとに行われているマネジメント」であり、組織成員に対して不確実性を低減させる効果がある (Thau et al., 2009)。これらの関係から次のような仮説を導くことができる。

## 3. 仮説

- 仮説1 組織の方針の理解度が高い場合には、組織成員はプロアクティブ行動を積極的にとるだろう。
- 仮説2 組織の方針の理解度が高い場合には、組織成員はリアクティブ行動を積極的にとるだろう。
- 仮説3 権威主義的マネジメントの程度が強い場合には、組織成員はプロアクティブ行動を積極的にとるだろう。

仮説4 権威主義的マネジメントの程度が強い場合には、組織成員はリアクティブ行動を積極的にとるだろう。

仮説5 組織の方針の理解度が低い場合には、権威主義的マネジメントの程度が強いときよりも弱いときのほうが、組織成員のプロアクティブ行動はとられづらいだろう。

仮説6 組織の方針の理解度が低い場合には、権威主義的マネジメントの程度が強いときよりも弱いときのほうが、組織成員のリアクティブ行動はとられづらいだろう。

## 4. 調査方法

本調査は2014年12月17日から同月24日にかけて、ネットリサーチサイトの登録モニターに対して行った、所属する組織と仕事に関するアンケートの調査データ (木村, 未発表) を二次的に活用する。このアンケートでは、大学職員、公務員、会社員の計730人 (男性555人、女性175人、平均年齢46.5歳 (SD=8.91)) から有効回答があり、すべてを分析の対象とした。

## 5. 結果と考察

分析の結果、次のことが示された。

組織の方針の理解度が高い場合には、プロアクティブ行動もリアクティブ行動も促進されることが示された。(仮説1および仮説2支持。) また権威主義的マネジメントの程度が強い場合には、リアクティブ行動が促進されることが示されたが、プロアクティブ行動には有意な影響を及ぼさなかった。(仮説3不支持。仮説4支持。)

組織の方針の理解度が低い場合には、権威主義的マネジメントの程度が強い場合にも、そして弱い場合にもプロアクティブ行動は低くなった。しかし、権威主義的マネジメントの程度が弱い場合には、権威主義的マネジメントの程度が強いときよりも、プロアクティブ行動がさらに低まる傾向が認められた。(仮説5支持。)

組織の方針の理解度が低い場合には、権威主義的マネジメントの程度が強い場合にも、そして弱い場合にもリアクティブ行動はとられづらくなった。しかし、権威主義的マネジメントの程度が弱い場合には、権威主義的マネジメントの程度が強いときよりも、プロアクティブ行動がさらに低まる傾向が認められた。(仮説6支持。)

本研究により、プロアクティブ行動を促進する要因として組織の方向性の理解があることが示唆された。また、組織の方針の理解と権威主義的マネジメントがともに低まる状況、すなわち不確実性が極めて高くなるような場合には、プロアクティブ行動がとられづらいたことが示唆された。